

## ふるさと教育の取組状況と課題

令和元年 8 月 28 日  
総 合 政 策 課

### 1. ねらい

将来的に本市を背負い、引っ張っていく役割を担う子どもたちに対し、地域の伝統行事等の身のまわりのことや、生活しているとなかなか気付きにくい地域の魅力について改めて目を向け、考える機会を提供することによって、地域に対する価値の再発見や愛着（シビックプライド）醸成につなげることをねらいとしている。

### 2. 本取組への総合政策課の姿勢

本市の長期的な人口減少対策の施策の一つとして、ふるさと教育を積極的に推進し、子どもたちが本市に長く住み続けたり、進学等で市外に出た後の U ターンや、市外で生活していながら本市とのつながりを持ち続けたりしてもらうことにより、本市の発展のために力を尽くしてもらうことを目指している。

また、当課のみならず、シティプロモーションを所管する秘書広報課及び教育委員会事務局と密に連携し、対応することとしている。

### 3. 取組実績および取組予定

#### (1) 取組実績

##### (ア) 平成 30 年度

- ・ 加茂小学校 5 年生の総合的な学習「ずっと住みたい町 米子」への対応  
⇒出前授業（5 月）、フィールドワークの受入（7 月）、児童による発表会への参加（12 月）、児童による市長への活動報告会（2 月）
- ・ 明道小学校 PTA 主催の「市役所探検ツアー」への対応  
⇒市役所の各所の見学及び市の概要や市役所の役割等についての説明（8 月）
- ・ 米子西高等学校「ベイセイよなご塾」への対応  
⇒市役所の各所の見学及び本市の現況や課題等についての説明（8 月）

##### (イ) 令和元年度

- ・ 明道小学校 PTA 主催の「市役所探検ツアー」への対応  
⇒市役所の各所の見学及び市の概要や市役所の役割等についての説明（8 月）

#### (2) 取組予定

- ・ 後藤ヶ丘中学校 2 年生の総合的な学習「こんな魅力のある米子（に住んでみませんか）」への対応  
⇒出前授業（9 月）

4. 今後の課題

(1) 多くの媒体を通じた情報発信による本取組の周知及び拡大

本市及び当課としては、本取組を積極的に展開したいと考えているが、学校現場等の負担に配慮する必要がある。そのため、当面は広報よなごや米子市公式 SNS 等を利用して、多くの媒体を通じた情報発信に努め、出前授業やフィールドワーク等の依頼に応えられるようにしたい。

広報よなご (平成 31 年 2 月号)



米子市公式 Facebook



## (2) コンテンツの充実

現在は、子どもへの説明の際に、共通の説明資料を活用しながら必要に応じて口頭で地域の情報を伝えているが、子どもたちの身近な地域（校区）により関心を持ってもらうために、公民館等と連携し、校区の歴史や伝統行事、特徴ある地域資源等を資料に追加する等の一層の工夫が必要になると考えられる。

また、依頼内容や時間に応じて、説明に加えて簡単なワークショップを実施する等、子どもたちがより主体的に考えられるように誘導するような仕掛けを加えられないか検討したい。